

最優秀賞 中学生

破田野 智皇 京都府

「2種の硬貨の殺菌効果の再検討」

受賞のコメント

中学校では「理科部」に所属しています。来年は高校生になるのですが、化学にも興味があるので、理系の道に進んでいけたらと思っています。



最優秀賞 小学生

園畠 里佳 大阪府

「銅鍋でいれた麦茶は腐りにくいか」

受賞のコメント

来年もコンテストが開催されるなら、銅の抗菌効果によって、足やくつ下のおいがましになるのかどうかを調べてみたいです。



優秀賞 中学生

田中 愛夕 (滋賀県) 「抗菌効果調査② ～塩化銅と発酵～」

上野 葉太 (東京都) 「How do you do with DO?」

井之上 理紗 (兵庫県) 「硬貨は何で出来ている？」

坂本 和興 (東京都) 「銅のすごい力 エッチング加工」

優秀賞 小学生

堀内 俊治 (千葉県) 「藻のそうじを楽にしたい！～銅の殺菌効果の研究～」

村上 博亮 (京都府) 「ダンゴムシは銅に反応する？」

三宮 煌雅 (東京都) 「熱伝導を調べよう ～早く熱が伝わる物質はなに？～」

団体賞 小学生

森田 彩心 (神奈川県) 大久保 由良 (東京都) 「～夏の暑さを切り抜けろ～「災害時にも使える、銅を使った熱中症対策」を考えよう！」

審査員特別賞

群馬大学理工学部選出

今井 葉菜 (東京都)

「水の中に銅を入れると花が枯れにくくなる!？」

日本鉱業協会選出

山藤 実咲 (東京都) 「秘密新聞」

日本伸銅協会 (DOWAメタルテック) 選出

張田 知華子 (京都府)

「「花瓶に10円玉を入れると、切り花が長持ちする」というお母さんの豆知識は本当か??」

日本電線工業会選出

北野 伊武季 (和歌山県) 「銅は導体!？」



表彰式後の記念撮影。TKP 秋葉原カンファレンスセンターにて。

小中学生が銅について研究！
第2回 夏休み自由研究コンテスト

日本銅センターは、全国の小学4年生～6年生及び中学1～3年生を対象とした、「銅のすごい力を調べてみよう！夏休み自由研究コンテスト」を開催した。

銅の性能を探索し、自由な形式で研究。若い世代の自然科学・銅への関心を高める教育支援を目的として行われた。

「銅の主な5つの特徴（導電性・熱伝導・超抗菌・加工性・リサイクル性）」をヒントに銅全般に関する自由研究を、夏休み期間を含む約3カ月間募集した。本コンテストは昨年に引き続き第2回目となるが、多数の優秀な研究の応募があった。応募作品は、4名の審査員が評価を行った。

厳正な審査の結果、11月18日に受賞者の発表、11月30日にTKP 秋葉原カンファレンスセンターにおいて表彰式が執り行われた。

表彰式には受賞した小・中学生が全国から集まり、表彰状は日本銅センター専務理事の桑山広司氏より授与された。

表彰式の後には、各受賞者から自身の研究の発表が行われた。小学生、中学生の皆さんはしっかりと発表され、日本銅センターからは、それぞれの研究に対するコメントが贈られた。

最後に群馬大学大学院理工学部教授・副学長 板橋英之氏が特別講演を行った。

板橋教授は、自身の研究内容、環境中の有害物質の分析と除去に関する研究や新型コロナウイルスの不活性化の研究について説明したうえで「研究はワクワクする楽しいもの。研究を成功に導く秘訣は、ひとつめ、とにかくやってみる。ふたつめ、うまくいかないときは逆にチャンス。そして、3つ目は、自分にできないと思うことやだめ、あきらめないこと。」と小中学生の研究者に対してエールをおくった。

第2回目となったコンテストであったが、実験を通しての気づき、体験が好評で、大盛況のうちに終了した。日本銅センターは今後もSTEM教育の必要性を考え、「銅の魅力伝える活動」を継続する。



ホームページ上で「夏休み自由研究コンテスト」の応募を行った。



板橋英之教授による特別講演の様子。受賞者の小中学生に温かいエールがおくられた。

第2回「銅のすごい力を調べてみよう！夏休み自由研究コンテスト」開催

